

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和元年7月30日

氏名: 勝山 東慈

留学時所属&学年: 国際地域学部3年

留学先大学	ナポリ東洋大学
留学先国	イタリア
留学期間	1学期間
留学開始-終了日	2019年3月1日 - 2019年7月31日

報告書上での氏名公開について (どちらかに○をつけてください。)

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

言い訳のできない環境に自分を追い込みたかったため。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学資格のための試験勉強、イタリア語の勉強の2つは大学入学直後から開始した。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

イタリア語を習得したいと強く思っていたため、イタリアに行くことしか考えておらず、派遣協定校先に、ナポリ東洋大学を見つけたので、そこ一択に絞った。

情報収集手段は、イタリア出身教員、先輩の報告書、留学生などから集めた。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL ITP 試験は計6回受験した。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

現地から来た留学生の話が役に立った。Google 上にも良質なナポリに関する記事が増えてきたので、信頼性もあると感じた。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

交換できそうな授業が少ないことは既知の事実だったので、そこまで苦労と感じたことはない。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

さすがは世界遺産数トップのイタリアといった感じで、校舎の外観は歴史的西洋建築といった装いだが、中は改修が施されており、快適だった。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

学内サービスは利用しようとしなかったため、ここに関しては不明。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

参加していない。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

- | | |
|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): I Corsi della Lingua Italiana(Raffaella Scarpato)●時間数/週(単位数): 週3回 6単位●クラスの学生数: 約20名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): イタリア語でイタリア語を学習していく。 |
|---|---|

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

授業の内容(A1レベルのクラス)だけではイタリア語を話せるレベルまでに持っていくのに、到底足りないため、自主学習時間をかなり確保する必要がある。
ノウハウ、知識コレクターにならないために、町中に出て、イタリア語しか話せないであろう店員や町の人に話しかけて、会話練習をした。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

とにかく語彙力文法知識が乏しく、理解できることが少なく苦しかった。
語学学習初期段階の基礎語彙不足や文法知識不足は圧倒的作業量を当てないといけないので、勉強するかしないかの2択なので、本気で身に着けたいと思えば、やるしかないといった感じだと思う。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

授業スタイルは、発話中心。生徒にとにかく話させるスタイルで、習ったその日から使えるような表現を教えてくれていたと感じた。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

--

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋
寮・アパート名	
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) キッチンとトイレシャワーが共用だった

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

自宅から徒歩 1 分のところにスーパーマーケットがあり、徒歩 10 分のところに飲食店街があった。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行口座開設はしていない。現金入手方法に関しては、キャッシュパスポートにチャージしてあるユーロを ATM で引き出していた。クレジットカードはタクシー配車アプリに登録してアプリを介して支払うというときしかほぼ使わなかった。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

室内用スリッパが案外役に立った。靴はどうしても履きたいものがない限り、持ってこずに、現地で買うなどにしたほうが良いと感じた。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝) (例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	23 万円	食費	12.5 万円
保険代	10 万円	家賃	20 万円
予防接種・ビザ代	0	教科書代	2000 円
交際費(外食等)	2 万円	その他	

合計: 67 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

日本人がやりがちな、鼻をかまずにすすめることはやめたほうが良い。
お店に入ったら、「必ず」挨拶をする。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

薬局(Farmacia)はたくさんある。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

健康体で過ごせた。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

日本から、パブロンをもっていった。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

僕が留学で学んだことは、次の3つのキーワードに集約される。

それは、「行動」「リスクを負うこと」「思考停止しないこと」である。

「行動」について、考えてばかり、計画を立てて終わりだと何かを達成することも、何かを得ることもできない。どれだけ考えたかも確かに重要ではあるが、もっと大事なのはどれだけ現実世界に自分の行動によって変化を起こせるかである。こうすればイタリア語を覚えられると考えるだけでなく、実際に手を動かして勉強したおかげで、結果を出すことができた。

「リスクを負うこと」について、「リスクを避けて、安全で堅実そうに見える道を常に選ぶ」というのは、一見安全で安定しているように思えるが、実際のところは、一度リスクを避けてしまうと、そのあとに必ずより大きいリスクになって帰ってくることが多い。あえてリスクを取って自分のまだ知らないことに挑戦することは、確実に成長につながる。僕は、イタリア人学生とばかり一緒にいるのではなく、現地のお店などに頻繁に通って、イタリア語しか話さない人たちと会話を積極的にした。それは、「退路が断たれる」というリスクを取るためである。英語がわかる人と話していると、イタリア語が伝わらないときの、いわば非常手段が英語になってしまって、いつまでもイタリア語の力が伸びない。一方でイタリア語しかわからない人々と話すことで、イタリア語が伝わらないときでもイタリア語で伝えるしかないという状況にすることで、イタリア語を使う能力を高めた。この方法は、実際リスクがあると感じている。自分のイタリア語が拙かったら、会話ができなくなって、次からそのお店に行きにくくなるかもしれないし、誤解が生まれてしまうかもしれな

い。しかしあえてそのリスクを取ることで、自らを追い込むことができ、結果として能力向上につながったと感じている。

「思考停止しないこと」について、思考停止して、現状維持しようとする、むしろ人間は後退してしまうと感じた。常にどうすれば今より良い状態に行けるか、問題を解決できるかを自分の頭で考えて、行動して、結果を変えていくことが何より重要である。自分の頭できちんと考えたことは、たとえそれが失敗に終わったとしても、ノウハウや経験として自分に蓄積され、財産になっていく。毎日のようにイタリア語の勉強をしていたが、だんだんできるようになっていっても、「どうすればもっと効率よく覚えられるだろう」「どうすればもっと効果をあげられるだろう」と常に自分が行っているメソッドに対して思考を挟み、改善していくことで、自分に合う学習メソッドが見つかった。

このように「行動」「リスクを取る」「思考停止しないこと」を徹底すれば、自分の目標に大きく近づけると感じた。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

現地学生と出かける回数が少なくなりました。家でイタリア語を勉強することがかなり多かったため、ある程度力が付いたと思えば、町中に飛び出して、自分の力を試すべきだと感じました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後はイタリア語の学習は本気の趣味として使える喜びをかみしめながら継続していこうと思っている。留学で得た、自分のポリシーを徹底して、やりたいことにフルコミットしようと考えている。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

当たり前ですが、イタリアの公用語はイタリア語です。しかしこの当たり前が生活レベルで言うとうるということの意味しているかをしっかり認識している人は少ないと感じます。公用語がイタリア語ということは、国民のほとんどが母語をイタリア語としているのです。よく「イタリア語は使えないけど、英語だけでも大丈夫」ということを耳にしたりしますが、それは観光でイタリアを訪れるレベルの話です。留学は観光ではありません。その土地に住むというのが何を意味するのかをもう一度考えてみてください。僕の言葉で言わせていただきますと、「観光するなら、外国人のままでもいいが、住むなら外国人であることを辞められるかどうかがかギになる」です。つまり、いつまでも「自分は日本人だから」「イタリア語は話せない」「英語で生活できそうだからそれでいい」と考えていては、いつまでたってもナポリでの生活は本当の意味で楽しくなりません。片言でもいいのです。現地の言葉というのは現地の人たちのアイデンティティの一つでもあります。それを受け入れて、一生懸命使おうとする人を悪く言う人はいません。「ああ、この人は私

たちのイタリア語を話そうとしてくれている。私たちもこの人を受け入れよう」という風になると、僕はナポリで5か月間必死にイタリア語を使いコミュニケーションを取り続けて感じました。現地の人々に受け入れてもらえて、初めて「ここはとていい場所だ。」「ここに住みたい。」となると思います。

ですから、ナポリに留学される方は、ぜひともイタリア語を使って、本当のナポリの良さに気づいていただきたいと思います。

僕はナポリの本当の良さを体感しました。今度は皆さんが体感する番です。

現地に染まって、最高のナポリの暮らしを体感してください。